

# 市議会だより おおむら

2023  
11月号

今回の定例会は



No.301号

## Contents

- 9月定例会 …………… P2
- 決算 …………… P4
- 賛否が分かれた議案 … P6
- 市政一般質問 …………… P7
- 大村市議会NEWS … P20



表紙の写真は、8月8日に市議会議場において開催された、子ども議会の模様です。市内の小学生5人、中学生7人の計12人が子ども議員として登壇し、市長をはじめ市の幹部に対し、身近な問題からまちづくりに至るまで、幅広い分野について質問や提案を行いました。

### Topic

## 9月定例会 令和4年度一般・特別・企業会計決算を認定

- 市政一般質問 22名の議員が登壇し、新庁舎整備や学校施設長寿命化などについて議論

# 9月 定例会



▼令和5年度の補正予算のほか、公の施設の指定管理者の指定についてや、固定資産評価審査委員会委員の選任についてなど31議案を可決・同意したほか、選挙管理委員・補充員の選挙を行いました。

## 補正予算

**豚熱ワクチン接種にかかる経費の支援を行います**

約159億6,519万円を増額する令和5年度大村市一般会計補正予算(第4号)など7件の補正予算を可決しました。

一般会計補正予算の分科会での主な審査内容は、次のとおりです。

### 経済建設分科会

**\*豚熱ワクチン接種支援事業**

〔概要〕

九州管内での豚熱発生に伴い、令和5年9月に県全域が豚熱ワクチン接種推奨地域に指定されたことを受け、豚熱予防対策に取り組み市内養豚農家を支援するもの。

〔審査内容〕

Q ワクチンの打ち手の確保はできているのか。

A 県の家畜防疫員が接種する場合は、各地域で依頼のあった農家に対してスケジュールを組み、1カ月以内に完了すると中央家畜保健衛生所に確認している。また、知事認定獣医師が接種する場合は、養豚農家が民間

の獣医師と調整して接種を行う。その他、研修を受けて手続きを行った養豚農家自身が接種する方法がある。

**\*都市計画道路見直し事業**

〔概要〕

都市計画道路(仮称)鬼橋坂口線の整備に併せ、周辺の土地の有効活用を図り、商業やサービス産業などの施設の立地を促進するため、都市計画マスタープラン、立地適正化計画および用途地域の見直しを行うもの。

〔審査内容〕

Q (仮称)鬼橋坂口線のルートは、過去に廃止となった路線であるが、再度整備を行うこととなった目的と今後のスケジュールはどのように考えているのか。

A 整備の目的としては、国道444号が朝夕を中心に非常に渋滞しており、この区間の交通渋滞対策に加え、都市計画マスタープランに基づき、新幹線の駅周辺の活性化を進めるために商業やサービス産業などの施設の立地を促進するといった土地利用の面からも、この都市計画道路の整備を行いたいと考えている。今後のスケジュールについては、令和6年度の都市計画決定および事業認可な

らびに、令和7年度からの事業着手を目指していきたい。

厚生文教分科会

\*小学校校舎等整備事業

〔概要〕

竹松小学校屋内運動場（体育館）横に屋外トイレを新設するもの。

〔審査内容〕

Q 屋外トイレを新設することになった経緯や工事内容について尋ねる。

A 男女兼用となっている既存の屋内運動場横の屋外トイレは、平成6年の建設から29年が経過している。また、休日等で校舎が施設されている際に、社会体育等の屋内運動場利用者も使用されることから、今回、男女を区分するために、既存のトイレを男性専用として、既存の便器の取り替え、内部の改修等を行うとともに、隣に別棟で女性専用トイレを新設することとしている。

総務分科会

\*大村湾SDGsプロジェクト事業

〔概要〕

企業版ふるさとづくり寄附金を活用し、水質浄化セラミックや人工サンゴを海中に設置し、大村湾の「水質浄化」および「CO2の吸収・固定化」に関する実証実験」を行うもの。

〔審査内容〕

Q アオサの発生抑制による悪臭軽減や水質改善、漁場環境の改善にもつ

ながり得る効果が見られるようであるが、今後、企業版ふるさと納税制度の終了とともに本事業は終了となるのか。事業の効果が出てきたのであれば、事業を拡大すべく、県に対し、財源獲得に向けた支援の要望を行うなどの働きかけが必要と考えるが、今後の取り組みについてどのように考えているか。

A 現時点においては、企業版ふるさとづくり寄附金を活用し、制度の期間において実施したいと考えている。今後については、事業開始後に得られた2カ年分のデータを第三者公的機関へ審査を依頼するなど、事業の効果をより詳細に分析するとともに、必要に応じ、県とも協議を行いながら、しっかりと検討していきたい。

議決

西大村中学校の体育館建て替え工事に係る契約を締結します

工事請負契約の締結について（大村市立西大村中学校屋内運動場改築建築工事）など、19件の議決議案を可決しました。

委員会での主な審査内容は、次のとおりです。

厚生文教委員会

\*工事請負契約の締結について（大村市立西大村中学校屋内運動場改築建築工事）

〔概要〕

西大村中学校の屋内運動場（体育館）の建て替えに係る工事請負契約を締結するもの。

〔審査内容〕

Q 今回建て替える屋内運動場には、災害時の避難所として使用される際に、避難者が使うことを想定してシャワーの設置が計画されているが、学校に通う生徒たちは使用できるのか。また、今後、屋内運動場を建て替える際にはシャワーを整備するのか。

A 生徒がシャワーを日常的に使用できるかどうかは、学校において判断するものと考えている。今後、建て替える屋内運動場は、災害時の避難所になると考えられることから、敷地に余裕がある場合は、今回と同様に整備していきたい。

総務委員会

\*公の施設の指定管理者の指定について（大村市アーチェリー場）

〔概要〕

大村市アーチェリー場の指定管理者として、令和6年度から令和10年度までの5年間、大村市アーチェリー協会を指定するもの。

〔審査内容〕

Q 建物の老朽化が著しく進んでいるが、市が所有する施設を管理してもらうからには、建物の整備については、市が責任を持って実施すべきである。早急に予算要求すべきと考えるが、どのように考えるか。

A 建物の老朽化については、市としても認識している。まずは、整備に係る費用について、調査を進めていきたい。また、当該施設に限らず、市内にはスポーツ振興課が所管する19の体育施設があり、その中には幾つか老朽化したものもある。使えるものは長く使っていきながら、整備が必要なものについては、建て替えも含め、早急に整備計画を検討していきたい。

陳情

2件の陳情書が提出され、所管の常任委員会で検討し協議を行いました。

● 国道444号に関する陳情

● 用水路保全管理費用の補助についての陳情

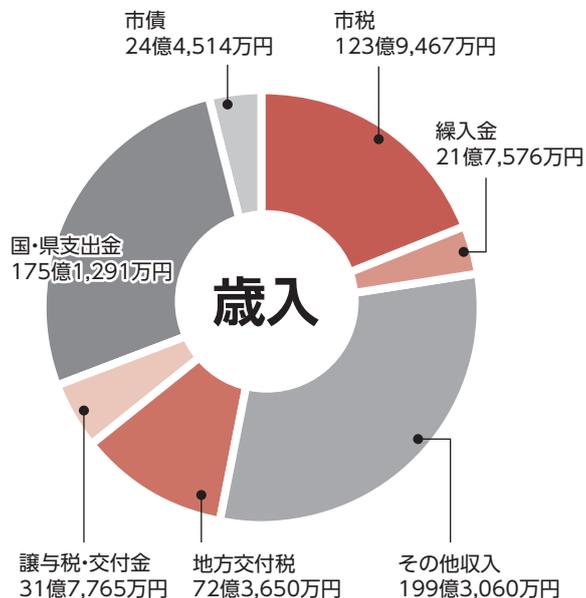
意見書

1件の意見書が提出され、可決しました。

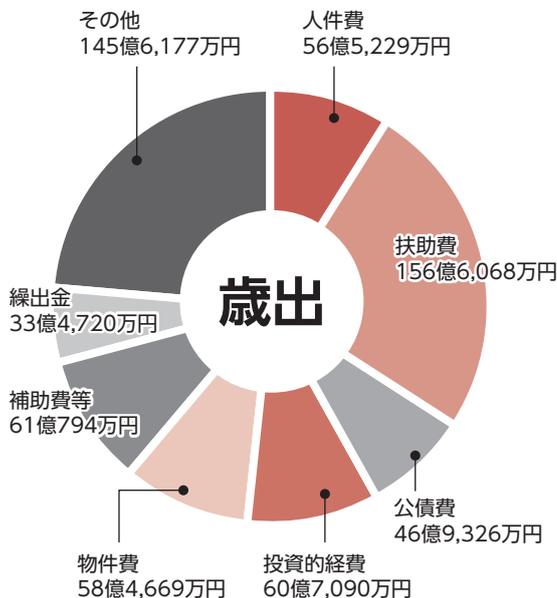
● LGBT理解増進法の慎重かつ適切な運用を求める意見書

## ●一般会計決算の概要

歳入 **648億7,323万円**  
(前年度比3.5%増)



歳出 **619億4,073万円**  
(前年度比5.8%増)



### 〈歳入〉主な増加内容

固定資産税、  
ボートレース事業収入

### 〈歳出〉主な増加内容

総務費（モーターボート競走事業収益基金積立金）、  
教育費（小・中学校施設長寿命化計画推進事業）

特別会計		歳入	歳出
国民健康保険事業		96億9,428万円	96億4,095万円
後期高齢者医療事業		11億5,449万円	11億5,247万円
介護保険事業	保険事業勘定	75億3,705万円	73億3,393万円
	介護サービス事業勘定	7,156万円	7,156万円
工業団地整備事業		6億3,910万円	6億3,910万円

企業会計		収入	支出
病院事業	収益的	4億7,662万円	5億4,701万円
	資本的	5億5,338万円	5億5,338万円
モーターボート競走事業	収益的	2,084億6,227万円	1,928億6,924万円
	資本的	9万円	61億6,733万円
水道事業	収益的	22億7,893万円	19億591万円
	資本的	8億6,634万円	19億4,730万円
工業用水道事業	収益的	2億1,737万円	2億5,986万円
	資本的	2億7,760万円	3億4,436万円
下水道事業	収益的	29億9,838万円	24億4,114万円
	資本的	11億7,531万円	24億7,312万円
農業集落排水事業	収益的	3億9,656万円	3億4,877万円
	資本的	1億4,007万円	2億6,608万円

令和  
4  
年度

決算  
審査

▼ 9月定例会では、令和4年度の一般会計の決算を認定したほか、国民健康保険事業やモーターボート競走事業など10の特別・企業会計の決算を認定しました。  
また、水道事業など4会計の利益剰余金処分を可決しました。

## 議員からの 質疑意見



令和4年度一般会計決算については、一般会計予算決算委員会に付託した後、より詳細に審査を行うため、総務・厚生文教・経済建設の各分科会で審査を行いました。分科会の審査における議員からの主な質疑・意見は次のとおりです。

### 企画政策部

#### \* 移住・定住促進事業

**Q** 令和4年度の移住実績や移住者の前居住地、今後の移住施策の方針について尋ねる。

**A** 移住実績については、相談件数301件のうち、73件、人数としては149名であった。また、移住者の前居住地については、上位から、東京都36人、神奈川県17人、埼玉県12人であった。現在、本市としては、東京・福岡圏域の20代、30代の子育て世代をターゲットに、市の魅力を発信するホームページ”おおむらぐらしのおおむらさん”の運用など、さまざまなおおむらプロモーションに取り組んでいるが、移住の施策にはいわゆる”正解”がなく、今の取り組みが5年後、10年後につながるような施策を引き続き行っていきたい。

### 市民環境部

#### \* 個人番号カード管理事業

**Q** マイナンバーカードを利用したコンビニでの各種証明書交付サービスの市民への周知が不足しているようである。カードの交付率が非常に高い本市として、利用促進の取り組みをどのように行っていくのか。

**A** コンビニ交付サービスの利用促進の取り組みとして、サービスの案内と暗証番号を記載できる名刺サイズのカードを作成するよう準備を行っており、作成したカードは、来庁されたマイナンバーカードをお持ちの市民の方へ配布する予定としている。

### こども未来部

#### \* 待機児童解消緊急保育士確保事業

**Q** 保育士等就職祝金について、令和4年度に祝金制度の周知を行い、令和5年度から金額等を拡充した効果はあったのか。また、市内に在住している保育士が市内の施設等に就職する場合に祝金は交付されるのか。

**A** 祝金の交付実績については、令和4年度で12名だったが、令和5年度は4月から8月までの5カ月間ですでに33名から申請があつている。また、過去1年間において、保育士として勤務したことがない場合は祝金の交付対象となるが、市内の施設を退職後、すぐに別の施設へ就職する場合などは対象とならない。

### 産業振興部

#### \* 立木売却収入

**Q** 市有林直轄林などの間伐材の売り払い収入ということだが、間伐材としては、樹齢や直径がどのくらいのもを伐採しているのか。また、間伐材はどのような用途に使用しているのか。

**A** 一般的には樹齢35年を超え、直径約20センチメートル以上のものを間伐している。また、間伐材については、建築用材やバイオマス燃料の原料のチップ材として利用されている。

#### \* 創業・交流支援事業

**Q** 創業・交流支援施設 onova (オノバ)の利用数が少ないことについて、どのように分析をしているか。

**A** 施設の開業がコロナ禍であったことで、創業塾の参加者数も少な

く、周知があまりできなかったことに加え、コロナ禍の外出自粛などで利用が少なかったのではないかと分析をしている。

創業塾の参加者についてはコロナ禍前の人数になつてきており、今後、創業塾を開催する際には案内等を行い、周知を図っていききたいと考えている。

また、onova(オノバ)を利用し、産業支援センターと連携をした研修や創業塾のステップアップ、創業塾の卒業生の集まりなどで活用ができないか、産業支援センターとも協議をしており、利用者の拡大に努めていきたい。



創業・交流支援施設 onova (オノバ)



## 防犯・防災

### 防災行政、水防対策について



久保 和幸 議員

大村市地域防災計画の見直しはいつ行われたのか。また、水防対策として関係機関および各部の連携を図るためには流域治水計画が有効だと思うが、策定状況について尋ねる。避難所として指定されている小中学校の建て替えに際し、避難所機能を充実したものにできないか。また、避難困難者への避難支援について尋ねる。

**答**

大村市地域防災計画・水防計画については、年に1回見直しを行っている。また、令和4年3月に郡川水系流域治水プロジェクトを長崎県において策定・公表をしている。避難所については、小中学校の改築の際に、防災倉庫、調理ができる家庭科室、トイレを配置することで災害時に活用できるよう整備していきたい。避難困難者への対応としては、自主防災組織等に安否確認や避難の促しなどをお願いしており、自主防災組織の中で独り暮らしの高齢者等のサポート体制を整備しているところもあるため、そのような取り組みを広げていくよう呼びかけを行っている。



# 市政 一般 質問

9月定例会では、22名の議員が質問を行いました。主な内容をご紹介します。

(QRコードから各議員の一般質問の動画がご覧いただけます。)

### ● 索引 ●

- |                    |                       |
|--------------------|-----------------------|
| ■ 防犯・防災 …………… P7   | ■ 教育・文化・スポーツ … P11~14 |
| ■ 生活・環境 …………… P7~8 | ■ 都市整備 …………… P14~15   |
| ■ 福祉・医療・保健 … P8~9  | ■ 行財政・一般 …………… P16~17 |
| ■ 産業・経済・労働 … P9~11 |                       |

## 生活・環境

### おくやみコーナーのサービス改善について



入江 詩子 議員

大村市では年間1,000人ほどが亡くなっている。その際の死亡後の諸手続きは煩雑で、素人には難しい。そのサポートのために設置されたおくやみコーナーは、事前予約制で、3日後しか準備ができない。別府市は、遺族が来庁する前に受け付けの準備を行い、予約不要で、遺族に細やかに対応している。大村市での対応改善を望む。

**答**

予約不要の体制を取るとなると、コーナーの場所と、それに対応する職員の確保が必要になる。また、多くの方が同時に手続きに来られたときには、お客様をお待たせすることになるため、予約不要とすることは厳しいと考えるが、予約なく来庁された場合も、市民課窓口で手続きについての案内を行っているため、ご相談いただきたい。予約については、早ければ10月をめどに、1日早い2開庁日以降の予約ができるよう見直しを行う。



## 生活・環境

### 公営合葬墓の設置を提案



中村 仁飛 議員

市長のマニフェストには「人生の最期も大村市で迎えたいを進める」と記載されているが、大村市での無縁遺骨の最終埋葬場は愛知県となっている。大村市で最期まで安心して暮らしていただくためには、公営合葬墓の設置も検討すべきと考えるが、市の見解を尋ねる。

**答**

現在、本市の斎場は老朽化が進んでおり、今後改築も予定されている。改築に合わせて、斎場の在り方や運営手法等、全体的な見直しを行っていきたくと考えている。その際、引き取りのないご遺骨を安置している斎場納骨堂の増設や合葬墓といった考え方も含めて検討していきたい。



## 生活・環境

### リサイクルボックスは ごみ箱じゃないですよ



竹森 学 議員

自販機横のリサイクルボックスは空きペットボトルや空き缶等の回収のために設置してあるが、これに一般家庭からのごみが混入し、スムーズなリサイクルの妨げとなっている上、処理費用等の負担が設置事業者に生じている。一般廃棄物である家庭ごみの処理責任は自治体にあるため、問題解決に本市としても取り組むべきではないか。

**答**

本市としては、環境美化運動や資源物の分別徹底に関する啓発項目の一つとして、自動販売機横リサイクルボックスの設置目的や適正利用に関するお願いなどを、広報紙やホームページなどで、広く市民の皆さまにお知らせしていきたい。また飲料メーカーと協定を締結し、環境センターで回収したペットボトルの水平リサイクルを予定しており、その事業を進める中でリサイクルボックスの問題についても考えていきたい。



## 生活・環境

### 浄水管理センターでの 下水活用の取り組み



晦日 房和 議員

上下水道局、浄水管理センターでは下水を高度処理して大村湾に放流する以外に、処理水を広く利用している。その具体例と使用量について、また、浄水化過程で出る汚泥についても活用されていると聞すが、その内容について併せて尋ねる。

**答**

処理水全体の2.4%に当たる年間30万立方メートルを再利用している。浄水管理センターなどで冷却水や洗浄水、トイレの水として利用しているほか、下水処理水のPRのため、膜処理とオゾン処理した処理水を森園公園へ、せせらぎ用水として送水している。また、本市の汚泥は、コンポスト肥料として活用されている。



## 福祉・医療・保健

### 重層的支援体制整備事業 への取り組み状況



入江 詩子 議員

社会保障などの分野を超えた包括的地域共生社会の取り組みである本事業は、長崎県内でも、5市1町が取り組みを進めている。高齢化や人口減少といった社会の変化を乗り越え、人々の暮らしと地域社会の双方を支えられるまちづくりが必要だ。その可能性を秘めた本事業なので、人材を探してでも、ぜひ取り組んでいただきたい。

**答**

重層的支援体制整備事業については、さまざまな事業を実施することが必須条件となっており、それぞれの地域の実情も大いに関係してくると思われる。また、事業実施の必要性や効果、課題等の整理、関係機関との連携の仕組みづくり、地域住民のニーズ等についての確認が必要である。今後、実施を予定している自治体があるため、その実施に至る経過や実施方法、実施後の効果、新たな課題なども踏まえ、本市としての必要性や方向性を判断していきたい。



## 生活・環境

### わんにゃん募金箱設置場所 の再検討について



田中 博文 議員

現在募金箱は、本庁舎案内カウンター上をはじめ各出張所に設置してあるが、殺処分ゼロを目指す取り組みと動物愛護の啓発には、幼少期から児童生徒への教育が欠かせないと考える。子どもたちの視界に届いてこそ本来の募金箱設置の意義も伝わるのではないかと。今後はこどもセンター等への設置を要望したいが、どうか。

**答**

今後、他の市有施設において、募金箱を設置できないか検討していきたい。また、子どもたちだけでなく、幅広い市民に対する動物愛護の啓発活動をする観点から、募金箱の設置だけではなく、イベントを通じたものなど、今後しっかりと検討していきたい。





## 福祉・医療・保健

### 带状疱疹ワクチンへの 助成検討を要望する



田中 秀和 議員

成人の90%以上は、子どものときに感染する水ぼうそうのウイルスが体内に潜伏している。加齢による免疫機能低下などが発症の原因となることがあり、50歳代から発症率が上がり、80歳までに3人に1人が発症する。長崎県内では、まだどこの市町も助成制度はないが、県下第1号でワクチン助成に取り組んではどうか。

**答**

带状疱疹ワクチン接種は、予防接種法上、任意接種であり、その必要性、助成の割合など、先行して助成している自治体を参考にした上で、非常に高額なワクチン接種になるということ、毎年壮年期の方々において、带状疱疹を発症している方が非常に多いことなど全体的なことを勘案し、現在実施に向けて調査・検討をしている。



## 福祉・医療・保健

### 保育所の使用済み紙おむつ 処分方法について



小林 史政 議員

使用された紙おむつを保護者に持ち帰ってもらうケースがあることから、市内保育所における使用済み紙おむつの処分方法の現状を尋ねる。2023年1月の厚生労働省からの使用済み紙おむつについての通達や、大村市保育会からも園での処分における要望書が提出されている。それらのことから本市の今後の対応について尋ねる。

**答**

市内の認可教育・保育施設において、使用済み紙おむつの持ち帰りを行っている施設は4施設あり、園で回収している施設は46施設ある。市としては、園で処分することが望ましいと考えており、おむつ保管用のごみ箱の購入費補助の補正予算を本定例会に上程している。この購入補助を活用するなどして、市内の全ての施設において回収が実施されるよう働きかけを行っていきたい。



## 産業・経済・労働

### シニア層活躍で地域活性化 と生涯現役社会へ



光山 千絵 議員

生涯現役社会実現のため、高齢者の生きがいづくりとして就労支援も含めた高齢福祉施策が今後重要になる。他市では、60代以上の市民を対象に体験付き仕事説明会を開催し、さまざまな経験や技能を持つ高齢者の人材情報を集約し、企業とのマッチングを支援している。本市でも先進事例等を参考に、同様の取り組みを進めるべきではないか。

**答**

現在、地域の雇用に関する課題に取り組んでいくために、長崎労働局と雇用対策協定の締結に向けて準備を進めている。その中で、シニア世代に対する就労支援についても連携して取り組んでいく予定としている。



## 福祉・医療・保健

### 健康寿命の延伸に 力を注ごう



高濱 広司 議員

約800万人の団塊の世代が全て後期高齢者・75歳以上になる2025年には、75歳以上の人口は約2,200万人に達する。福岡県の久山町は、約60年にわたる健康診断結果を分析し、握力が健康状態を知る目安になると報告するほど健康対策に熱心だ。元気な高齢者を増やすために健康寿命の延伸に力を注ぐべきだ。

**答**

本市では健康寿命の延伸を図るため、高齢期からではなく、若い世代からの特定健康診査、がん検診の受診率向上のための未受診者対策、その後の保健指導を重点的に行っている。また、介護予防として高齢者に対し、介護予防教室やシルバーパワーアップ事業、高齢者リフレッシュ事業を行うとともに、公民館など身近な場所での通いの場を増やす取り組みを行っている。久山町の例については状況を確認したい。



## 産業・経済・労働

### 農業者の確保・育成について



村上 秀明 議員

認定農業者をはじめとする農業の中心的経営体の確保および育成について、地域計画を策定した区域に対するインセンティブ的な支援策を講じてはどうか。中山間地域以外の、いわゆる平坦地で営農されている農業者に特化した、環境負荷低減やスマート農業などを推進するための支援策を設けてはどうか。

答

インセンティブとして支援を実施すれば、担い手に対し、将来の目標とする集積率など一定の統一した指標が必要となってくると考えている。また、平坦地農業に特化した支援策は現時点ではないが、スマート農業に関しては、既に導入されている先事例を紹介するとともに、生産者のニーズを把握し、JAなど関係機関の意見も踏まえた上で、既存の制度拡充も含め対応について今後協議していきたい。



## 産業・経済・労働

### 農業問題行政について



朝長 英美 議員

耕作放棄地の現状について問う。また、耕作放棄地を減らすためには農地法において定められている農地取得の要件を緩和することが必要だと思うがどうか。本市の農業者の平均年齢は68歳であり、今後も上がっていくと思うが、その対策として兼業農家を推進してはどうか。

答

遊休農地の放棄率の推移としては、令和2年度9.8%、令和3年度8.9%、令和4年度11.2%となっており、約1割強の農地が現在遊休農地となっている。農地法における下限面積の要件は撤廃されており、自給的農家と言われる小規模農家の規模拡大や新規就農者の農地取得の要件が緩和されている。また、従事日数が150日を超えない場合でも農業委員会が事案ごとに許可の判断をしている。会社に勤めながら農業に従事することは可能であり、農地の貸借については個々の事案ごとに判断することになる。



## 産業・経済・労働

### 高病原性鳥インフルエンザへの本市の対策



晦日 房和 議員

本感染症は、昨年10月28日にニワトリで国内1例目を確認されて以来、今年4月7日までに約1,771万羽が殺処分された。さらに外国の戦争で飼料価格の高騰と相まって、今年4月に卵の価格が過去最高となった。県内では佐世保市江迎町で感染が起っており、本市でも採卵用農家があることから今後の対策について尋ねる。

答

本年7月に開催された大村市鶏病対策協議会の総会において、県中央家畜保健衛生所の担当者を講師として、鳥インフルエンザの発生予防対策に関する講習会を実施し、対策について再度確認をしている。市としても、引き続き、にこにこ畜産経営事業等を通じた支援により、発生予防対策に注力していきたい。



## 産業・経済・労働

### 森林整備の現状と今後について



村上 秀明 議員

分収林における経営や管理方法などの計画と契約団体の実情(高齢化や後継者不足など)とその改善策についてどのように考えているか。大村市木材利用促進基本方針に基づき市が整備する公共建築物(市庁舎)における木材利用と市内産木材の確保(流通・製材など)に関し現状と対策について尋ねる。

答

これまで行った現状調査や意向調査などを踏まえて、森林の経営や主伐・間伐といった管理方法などの計画を今年度中に立案するよう作業を進めている。新庁舎に供給できる木材の量や活用については、今後設計を進めていく中で擦り合わせていき、関係団体や設計事業者を含め、しっかりと市が音頭を取って、積極的に進めていきたい。



**産業・経済・労働**

新規就農者と同様に  
親元就農者にも支援を



高濱 広司 議員

大村市は山があり、川があり、扇状地が広がって豊かな田畑があり、海もある美しいまちである。一方で長崎空港があり、大村インターがあり、新幹線がある交通の要衝でもある豊かな田園都市である。この美しい情景をなくしてはならない。衰退する農業に歯止めをかけるには、新規就農者と同様に親元就農者も支援するべきだ。

**答**

本市においては、市単独事業で、施設整備等への支援を親元就農者を含めた新規就農者を対象に実施している。今後、親元就農者のニーズを把握するとともに、他市の事例を参考にしながら、関係機関と協議を進め、実態に即した支援策について研究していきたい。



**産業・経済・労働**

一次産業従事高齢者への  
支援策について



田中 秀和 議員

昭和51年からの継続事業である高齢者肉用牛飼育奨励事業の目的と対象者の推移は。また農業、林業、漁業のいずれも後継者不足で事業の継承が進んではいない。既存の高齢従事者にも引き続きその役割を担っていただかなければならない。そのためにも一次産業従事高齢者への何らかの支援が必要ではないか。支援の制度拡大を要望する。

**答**

高齢者の健康増進と生きがいづくりとして、肉用牛の飼育を奨励することで、農業生産力の維持および畜産振興に資することを目的としている。令和4年度は、会員数は6戸、導入実績7頭に対し、7万414円の利子補給を行っており、10年前の平成25年度については、会員数が14戸で、導入実績10頭に対し、7万9,116円の利子補給を行っている。年々会員数、導入頭数ともに減少傾向となっており、支援制度の拡充については、今後、関係各団体等の意向を伺いながら、研究をしていきたい。



**教育・文化・スポーツ**

竹松地区への小・中学校  
の新設について



水上 亨 議員

竹松小学校の児童数は1,072名で文部科学省が定める学校規模の基準を大幅に超えている。私は数年前から学校を新設するための用地を十分に確保できる地域を提案してきたが今回、都市計画道路(仮称)鬼橋坂口線の整備が計画され、併せて用途地域等の見直しで商業施設などの立地が促進される。提案してきた学校新設の考えを問う。

**答**

現在、ミライへつなぐ学校教育プロジェクトの一つとして、学校規模の適正化の取り組みを進めている。安易な学校統合や閉校はしないことを視点に、大規模校の校区の見直し、特別転入学制度の拡充、施設一体型小中学校の設置の方向で進めているところであり、現在のところ新設する考えはない。



**産業・経済・労働**

企業誘致は  
情報収集が原点だ



村崎 浩史 議員

企業誘致を進めてきた第2大村ハイテクパークの残り区画はあと一つである。企業誘致は情報収集が鍵となる。企業誘致に結び付いた情報提供者にインセンティブ(成果報酬)を与える「企業誘致情報提供報奨制度」を実施している自治体もある。本市でも活用が見込める制度であり、市の見解を問う。

**答**

本市出身者等に企業誘致につながる有力情報の協力を求めるような報奨制度は、企業誘致に向けて有効な手段となる可能性もあるため、他の自治体の実施状況やその実績等について調査を行う。また、本市出身者のコネクトという点では、首都圏、関西地区および福岡地区において、本市の出身者で組織する企業誘致支援会議を定期的に開催しているため、委員から誘致に関する助言をいただくなどし、情報共有を図っていきたい。



## 教育・文化・スポーツ

### 給食費や保育料の無償化を尋ねる



中村 仁飛 議員

給食費や保育料の無償化について、市長は「『国や県に市長会等を通じて広域で対応すべき』と要望を上げていきます」との説明であったが、声を上げるだけではなく、大村市が改革し、県や国を変える。それぐらいの覚悟を示すつもりはないか、市長の見解を尋ねる。

答

給食費全額無償化を実施すると10年間で49億円となる。そうすると今計画している公共施設の整備に財源を充てることが困難になる。ここは、政策判断という中で、公共施設の整備にこの財源を充てさせていただきたい。しかし、一自治体からも声を上げるということで、市長会の重点事項として国に、一自治体ではなく広域で対応すべきだということを提言し、国による実施を本気で進めていきたい。



## 教育・文化・スポーツ

### 有機食材を使用した学校給食の提供を求める



永山 真美 議員

全国オーガニック給食協議会の設立やオーガニック給食を全国に実現する超党派の議員連盟が結成されるなど、学校給食に有機農産物を広げ、併せて有機農業の促進を図ろうという取り組みが広がっている。本市でも取り組み始める時期に来ているのではないか。有機食材を使用した学校給食の提供を求める。

答

本市では、第2期大村市農業基本計画において、有機農業の取り組み面積の拡大や、化学肥料・化学農薬の低減等を関係団体等と連携して推進することとしており、この取り組みを進めていく中で、学校給食も一定の役割を果たしていく必要があると考えている。現状では、1日に使用する食材が大量に必要であることから、市内で生産される有機農産物を学校給食に取り入れることが難しい状況ではあるが、今後の有機農業推進の取り組みの動向を注視していきたい。



## 教育・文化・スポーツ

### 色覚チョーク導入について



堀内 学 議員

2003年から学校での一斉色覚検査が廃止され、小学校での検査が任意となったため、気が付かないまま黒板が見えづらく、苦労している生徒もいる。先生方の色覚異常への理解促進、色覚の個人差に応じた配慮の一つとして全学校での色覚チョーク導入に向けて検討していただきたいが、見解を求める。

答

各学校で使用するチョークについては、各学校の配当予算内で購入している。現在使用しているチョークと色覚チョークの価格差も、さほどないと考えているため、次回購入時から導入を進めるよう、各学校に伝えていきたい。



## 教育・文化・スポーツ

### 不審者の学校侵入対策で防犯カメラの設置を



堀内 学 議員

不審者に関しては、まずもって侵入させない・未然に防ぐ、ということが重要になってくる。そのためには校門の施錠管理や受け付けでの対応など児童生徒の安全確保のためには目に見える抑止力も必要ではないかと思うが、学校の出入り口など学校の敷地内にも防犯カメラを設置してはどうかと考えるが、見解を求める。

答

防犯カメラ等の設置については、不審者の学校進入防止対策として、非常に有効と考えている。防犯カメラについては来年度、全ての小中学校に設置する。



**教育・文化・スポーツ**

**郷土の偉人の顕彰について**



永尾 高宣 議員

幕末から明治維新の偉人は大村ではよく話題となるが、大村高校に「今里廣記氏」の胸像が諏訪神社から移設されたこともあり、昭和以降の大村に縁のある著名人の方々の顕彰について市の見解を尋ねる。また、広報おおむら「クローズアップ大村人」としてふるさとを思いながら、市内外で活躍する大村人を世代を問わず紹介していくことで大村の「応援団」を増やすことに結びつくと考えているが市の見解を尋ねる。

**答** 今後、戦後以降の時代も歴史として調査・研究の対象となっていくと考えられ、その中でより傑出した、社会に影響を与えた人物の顕彰に取り組んでいくことになると考える。クローズアップ大村人については、今後もさまざまな分野で活躍する大村市出身者を多くの方々に知っていただけるよう、継続して取り上げていきたいと考えている。



**教育・文化・スポーツ**

**無形民俗文化財の保存継承について**



久保 和幸 議員

令和4年11月に郡三踊の沖田踊、黒丸踊がユネスコ無形文化遺産に登録されたが、今後の支援と活用をどのように考えているか。郡三踊をはじめ市内には多くの民俗芸能があるが、保存継承へ向けた支援はどのようになっているのか。また、後継者育成のため地域の小中学校と連携した取り組みはできないか。

**答** 郡三踊の保存継承のため、本市では毎年、社会教育振興費補助金を交付している。活用については、花菖蒲まつりなどの催しに出演いただいている。今後も各種イベントへの出演を検討しながらホームページ、SNSなども活用するなど、PRを行っていききたい。また、本市で把握している伝統芸能の保存会にも必要に応じ、郷土芸能保存育成費補助金を交付している。小中学校との連携としては、郷土に伝わる伝統芸能について調べ、実際に体験し発表会などでその学習の成果を披露している学校もあり、その事例を参考となるよう紹介をしていく。



**教育・文化・スポーツ**

**デジタル教科書に伴う健康被害対策について**



高見 龍也 議員

全国の学校においてWi-Fiを使える環境を整備したところ、一部の子どもに電波による頭痛や急激な視力の低下などの健康被害が生じていると聞いている。大村市も来年4月からのデジタル教科書導入によって、さらに強い電波が飛び交うと思うが、児童生徒および教職員に対する健康被害が生じないための対策はどのように考えているか。

**答** 次年度のデジタル教科書の導入において、どのような形態で導入をしていくかについてはまだ検討中であるが、電波による体調不良の申し出があった際には、電波の影響を減らすためにWi-Fiを使用しないときにはコンセントを抜く、あるいはアクセスポイントから座席までの距離を取ることで対応したいと考えている。



**教育・文化・スポーツ**

**(いわゆる)ブラック校則について(再)**



高見 龍也 議員

6月議会では、「校則は、社会通念上合理的と認められる範囲内において、教育目標の実現という観点から、校長が定めるもの」という答弁だったが、校則の改廃について校長が拒否する場合には、社会通念上合理的範囲内か否かを判断するために毎月1回開催される教育委員会定例会において、5名の教育委員の判断を仰いでどうか。

**答** 現場から上がってきた社会通念上違う、いろんな問題をはらんでいる、といったことについては、教育委員会のほうに連絡をさせていただき、内容等もお聞かせいただいた上で、各学校現場と連絡調整し、返答したいと考えている。改めて制度や体制をつくる必要はないかと考えている。



## 教育・文化・スポーツ

学校体育館は複合型での  
建て替え計画を望む



里脇 清隆 議員

学校体育館の建て替え計画で、教育委員会としては国の補助基準での計画が進められているが、学校教育としての設計に行政側のスポーツ振興の観点も踏まえ、ひと回り広く観客席もある複合型体育館とすることで、地域の行事や競技団体また中総体で応援もできる。郡中学校体育館の計画に、ぜひこの考え方を取り入れていただきたい。

**答** 今後改築を予定している屋内運動場についても、敷地の状況を踏まえ、競技団体等の話も聞きながら、できる部分、できない部分を整理した上で工夫しながら建て替えを進めていきたい。郡中学校は代替施設を要しない、敷地が別の場所であるため、さらに工夫できると思っている。



## 教育・文化・スポーツ

吹奏楽など文化部の  
遠征費も全額補助すべき



里脇 清隆 議員

九州大会や全国大会への遠征にかかる補助金交付要綱によると、運動部など中体連主催の大会は学校行事として個人負担なく全額補助されるが、吹奏楽コンクールは主催が違うということで遠征費は半額助成で、しかも50人を限度となっている。生徒たちにとっては中総体と同じ立ち位置であり、全額助成し人数の制限も撤廃すべきだ。

**答** 議員ご指摘のとおり、自己負担が多いと考えられる現行制度を見直し、吹奏楽連盟主催大会については、個人負担がなくなるよう助成額を引き上げ、また対象人数についても制限を撤廃する。また吹奏楽以外についても同様の事例があるかもしれないため、総合的にチェックするよう教育委員会に指示をしている。



## 都市整備

道路行政について



古閑森 秀幸 議員

竹松駐屯地入り口の道路状況は隊員の登退庁時および訓練など出入り時は混雑していることから、道路区間や交差点などに新たな道路やレーンの建設、交差点の改善などのインフラ整備が必要と思われる。また、新編される水陸機動団(第3連隊)も増えることから、早急に整備をお願いする。

**答** 駐屯地へ向かう右折レーンの長さについて、竹松駐屯地および警察と協議を行い、延長するように努めたい。また、通勤時間帯の交差点への車両の集中を分散させるために、駐屯地交差点から北側に位置する、市の管理地を利用した新たな出入り口の整備を今年度内に行う予定としている。



## 教育・文化・スポーツ

体育館にエアコン設置を  
進めるべきではないか



村崎 浩史 議員

中学校屋内運動場(体育館)へ空調設備を整えることは生徒の熱中症対策に加えて、災害時における避難所の観点としても必要だ。設置・維持管理費用の試算を庁内で行っているのか。空調設置は財政負担になるが地域にとって不可欠なものだ。体育館における空調設備について、市長の見解を問う。

**答** 令和4年1月時点の積算ではイニシャルコストが約8,900万円(国庫交付金や起債が認められた場合の実負担は約3,510万円)、ランニングコストが年間約150万円であり、どちらも価格高騰を考えると今後増額すると考えられる。膨大なコストがかかること、また、今後30年かけて実施する学校長寿命化計画に大きく影響を及ぼすことから空調機の設置は難しいが、空調機の設置については、県の市長会で議論を重ね、九州、国へ提言をまとめていきたい。



**都市整備**

**市道平ノ前横山線の整備について**



松尾 祥秀 議員

市道平ノ前横山線は、市内市道の中で一番荒れている。令和元年と令和3年の議会一般質問で質問し、整備するとの回答をいただいていたが、その後の対応、整備計画について尋ねる。

**答**

令和元年度に地元関係者の皆さまとの現地立会いを行い、路肩の崩壊や市道の落石の状況、側溝整備や離合箇所などの必要な箇所について確認を行っている。令和4年度から路線の整備に着手しており、昨年度は側溝整備を16メートル実施している。今年度は、側溝整備を30メートル実施するように予定しており、来年度以降についても、危険度や緊急性の高い箇所から計画的に整備を行うように考えている。



**都市整備**

**運動公園について**



朝長 英美 議員

古賀島スポーツ広場の多目的広場の使用料は1時間2,000円であるが、予約がない場合には無料開放している。一方、総合運動公園のグラウンドゴルフ場は、1時間当たり1,000円であるものの、利用者が少ない状況である。この状況をどう考えるか。また、市民から台風によりグラウンドゴルフ場の予約をキャンセルしたが、半額しか返金されなかったという事例を聞いたがなぜか。加えて、クジラの公園の駐車場問題について以前から質問されていたが改善されたのか。

**答**

利用者の方からも使用料が高いという声をいただいております。利用促進を図るため、本市に所在するグラウンドゴルフの愛好団体が、平日に利用する場合に限り、使用料を減免するように手続きを進めている。議員ご指摘のキャンセル料の事例については、全額返金の対象となるため申し出ていただければ返還させていただきます。クジラの公園の駐車場については、クジラの公園の近くのテニスコートと多目的広場の間に駐車場を設置する方向で進めている。



**都市整備**

**落ち葉を雨どいに詰まらせない対策について**



田中 博文 議員

街路樹からの落ち葉が住宅の雨どいに詰まり、重さで雨どいの一部が欠落したとの苦情が届いた。毎年一定時期になると、落ち葉清掃が頻繁に発生してきたが雨どいの欠落は初めてとのことである。対策として相談者に、網戸の交換用ネットと結束バンドを現物支給して、雨どいを覆う対策をDIYでできるよう推奨してはどうか。

**答**

雨どいに落ち葉が詰まることへの対応策として、材料支給などを行い、施工は自己負担で行ってもらうことなどの手法については、他市の状況などを調査し、さまざまな面から実施可能かも含めて、研究していきたい。なお、場所によっては、街路樹の枝葉を剪定することなどで、対応可能な場所もあると考えられるため、個別に道路整備課へ相談をしていただきたい。



**都市整備**

**サンシャインロードの交差点に名前を**



竹森 学 議員

都市計画道路池田沖田線、通称サンシャインロードの全線開通は地域生活の利便性向上に大きく役立っているが、目印となるものが少なく来客の時など道の説明に苦労するという声を聞く。位置情報を素早く確認できることは事件事故等の緊急時にも役立つと考える。このための一つとして交差点の名前を表示することはできないか。

**答**

交差点名を付けることができるのかについては、都市計画道路池田沖田線が県道であるため、道路管理者である長崎県、警察および長崎県公安委員会などとの協議が必要になると思われる。緊急時の位置情報のため都市計画道路池田沖田線の主要な交差点に、交差点名標識の設置ができないものか、長崎県、警察および長崎県公安委員会などに相談をしたい。



## 行財政・一般

### マイナ保険証の登録は任意か



永山 真美 議員

マイナ保険証の登録では、全国で数多くのトラブルが報告されており、不安を感じている市民は多い。マイナ保険証の登録は任意で、マイナンバーカードを持つ・持たないにかかわらず、マイナ保険証の登録をしていない人には資格確認書が発行されるとの理解でよいのか。また、一度登録した後でも、解除できるのか。

答

マイナンバーカードの健康保険証利用登録は、任意の手続きとされている。国においては、資格確認書を利用登録されていない全ての方に、申請がなくても交付することを検討されている。また、一度登録した後もマイナ保険証の利用登録の解除を可能とし、資格確認書を交付することも検討されている。



## 行財政・一般

### 市発展の源は職員力。職場改善を図るべき



水上 亨 議員

近年、全国の自治体では非正規職員数が増加している。本市は、県内でも上位を占めている。また、新規採用後1、2年での転職や、定年前に早期に退職する職員が増加傾向にある。個々の事由ではあるが、新たな施策や災害対応などで人員不足が露呈し、職員は疲弊している。職場の実態を把握し、職場改善に努めるべきだ。

答

職場環境の整備を進めることは、非常に重要であると考えている。新規採用職員については、入庁半年後、2年目に面談を実施し、職員の声を聞くようにしている。入庁3年目には、求められる役割の確認、改めて市職員としてのモチベーションを上昇させることを目的として、外部講師を招いて研修を実施している。また、今年度から定年延長、役職定年制度も始まることから、定年を前にした職員の働き方やモチベーションを維持するための研修を計画している。



## 行財政・一般

### 人口10万人達成を目指して!!



永尾 高宣 議員

現在大村市の人口は約9万8,300人で、10万人に達する大きな要因の一つが水陸機動連隊が配備されることである。その配備の大まかなスケジュールと受け入れ準備体制の進捗について尋ねる。異動シーズンにおいては、市民課の窓口などに多くの人が集まることが考えられるが、事務手続きがスムーズに進むような体制を考えているか。また、「10万人達成」の見込みは何年ごろか。

答

水陸機動連隊の大村市への配備については、今年の冬ごろから令和6年3月末にかけて、順次配備が行われる予定である。市としては、世帯構成の確認による保育所等のニーズの把握、部隊配備に伴い増加する車両に対応するための周辺道路の整備など、適宜受け入れの準備を行っている。転入手続きにおいては、土曜日、日曜日の開庁や、自衛隊内に居住する隊員について、市民課職員が直接隊へ出向き手続きが行えるよう、調整を行っている。なお、令和6年度中には、住基人口10万人を達成すると見込んでいる。



## 行財政・一般

### 誰もが安心して使える公共トイレ整備を!



光山 千絵 議員

新庁舎設計案の中で示されたLGBT等へ配慮したトイレ計画は、盗撮や性犯罪被害の恐れが高まり、特に女性の不安を増長させるものである。海外のトイレでは犯罪機会論に基づく防犯環境設計が広く取り入れられ、女性を性犯罪等から守る設計となっていると聞く。公共トイレは防犯の視点を大前提とし整備すべきではないか。

答

犯罪機会論に基づくトイレについては、非常に貴重なご意見ということで参考にさせていただきたい。性的マイノリティーの方々へも配慮した、誰もが安心して利用できるトイレの設置に向けて検討していきたい。



**行財政・一般**

市民に親しまれる  
新庁舎建設について



中崎 秀紀 議員

新庁舎設計業務委託プロポーザル審査が開催され、優先交渉権者が決定した。これから実施設計に向けて検討を進めていく中で、市が市民のニーズを捉えて取り組んでいくことが重要である。市民が気軽に立ち寄る交流拠点となれば、訪れる市民が増えて市政への関心も高まると思う。どのような新庁舎にしようと考えているのか問う。

**答** 多様化する市民ニーズに応え、質の高い行政サービスを提供するために、最新技術を活用したスマート庁舎にしたい。非常時にも庁舎機能を維持できる高い耐震機能を備え、災害時の情報収集や伝達を確実に行う防災システムや情報通信設備を導入する。また、環境負荷低減に努めた環境配慮型の庁舎、誰もが安心して利用できるユニバーサルデザインを基本とした庁舎を目指し、市民の皆さまから親しまれる新庁舎にしたい。



**行財政・一般**

第2体育館の早期建設  
を要望!!



中崎 秀紀 議員

令和5年度から令和6年度の期間で新体育文化施設基礎調査事業が行われ文化ホール・第2体育館・武道館の規模や複合化、候補地等が検討されている。学校体育館建設が始まり市内体育館の不足が明らかとなり、教育活動、地域活動に支障が出ている。第2体育館の検討については切り離して早期に建設すべきと考えるが、市の見解を尋ねる。

**答** 文化ホール、第2体育館および武道館の3施設については、機能や規模の想定、建設候補地の検討を行い、今年度から来年度にかけて基礎調査を実施しているところである。小中学校の体育館の建て替えに伴う課題等については、この基礎調査を含めて進めていく中で調整、整理をしていきたい。



**行財政・一般**

市民会館の  
建設計画等について



松尾 祥秀 議員

市民会館(文化ホール)の建設についてこれから調査検討するとのことであるが、基本的な考えについて問う。また、第2体育館・武道館建設、環境センター建て替え、総合運動広場の芝生張り、陸上競技場の全天候型トラック整備、小中学校の長寿命化工事など、次々に計画を発表されるが、どれくらいの費用がかかるのかお尋ねする。

**答** 本年度から来年度にかけて、文化ホール、第2体育館および武道館の3つの施設の機能や規模の想定、建設候補地の検討を行い、複合化も選択肢に入れた施設整備案を策定するため、基礎調査を実施している。その基礎調査の結果を踏まえ、令和6年度中に新たに設置予定の懇話会で議論を行い、最終的な施設整備の方向性について決定していく。現時点で算定できている建設費の見込みとしては、合計すると約534億円となる。



**行財政・一般**

地方創生と移住・定住  
の取り組みについて



小林 史政 議員

本年度によりやく事業化することができた地域おこし協力隊の募集状況の結果と今後の対応および移住・定住・関係人口を増加させるための取り組みをどのように考えているのか。さらに「しあわせ循環コミュニティ事業」との連動性も含めて、多くの市民を巻き込みながら事業を進めていくべきであると考えているが、市の見解を尋ねる。

**答** 募集の結果3名の応募があったが、応募要件を満たさず、採用には至らなかった。現在、来年4月からの採用を目指し、募集要項等の見直し、効果的な情報発信の手法について検討している。今年度からふるさと納税の返礼品として、NFTを提供しており、今後はNFTを保有した方をデジタル市民とするなど、大村市しあわせ循環コミュニティ事業と併せた新たな関係人口創出の取り組みを検討していきたい。



## 各議員が通告した質問項目は以下のとおりです。

### ○古閑森 秀幸

学童の器物破損事案の動機／都市計画道路古賀島沖田線(沖田工区)の現在の状況／多死時代の遺族支援に特化した窓口やコーナーの設置／マイナンバー登録事務のミス／他

### ○水上 享

市新庁舎建設／職員定数増の条例改正／有害鳥獣対策／総合卸売市場の老朽化対策／都市計画道路(仮称)鬼橋坂口線用途地域の見直し／総合運動公園の利用促進／竹松地区への小・中学校の新設／他

### ○永山 真美

マイナンバーカード、紙の保険証の廃止／デジタル田園都市国家構想交付金の活用事業、個人情報管理や漏えい対策／有機食材を使用した学校給食／給食費無償化／他

### ○中村 仁飛

農業用水の水質改善／レジ袋の指定ごみ袋化／指定ごみ袋への広告欄設置提案／越境樹木への市の対応／公営合葬墓設置要望／給食費・保育料の無償化／身を切る改革／他

### ○堀内 学

通学路の安全対策、不審者の学校侵入対策／親なき後の居住支援体制、老障介護といわれるケースの把握／電動アシスト自転車補助事業、環境負荷低減の効果、自転車全般の購入費用補助／他

### ○光山 千絵

LGBT理解増進法の概要、学校教育への影響、防犯上安全なトイレ設計、パートナーシップ制度／放課後児童クラブ受け入れ状況、放課後児童支援員の充足率／就労支援も含めた高齢福祉施策の在り方／他

### ○入江 詩子

ファミリーサポートセンターの進捗状況／不登校児童・生徒への支援／第2期おおむら支え合いプラン／重層的支援体制整備事業への取り組み／おくやみコーナー／新規就農／他

### ○久保 和幸

河川改良の状況と計画、公共下水道雨水幹線の現状と今後の計画／田んぼダムへの取り組み／防災重点農業ため池改修、急傾斜地崩壊対策事業、避難所の現状と今後の対策、自主防災組織の活動状況／他

### ○朝長 英美

農業者人口／農地貸借／農地取得緩和／兼業農家推進／運動公園利用料金／ワジラの公園の駐車場／公園の日陰／教育問題／他

### ○永尾 高宣

人口増による市政の状況／新大村駅周辺の開発による固定資産税および市民税の見込み／西九州新幹線の開通の効果および新幹線を観光に生かす取り組み／全国学力テストの状況／他

### ○高見 龍也

(いわゆる)ブラック校則／来年4月からのデジタル教科書導入に伴う健康被害対策／公共施設の仮予約と使用料支払い手続き／新設の文化ホールへの美術品を展示するスペースを併設すること／他

### ○中崎 秀紀

教育環境、熱中症対策・小中学校冷水機設置要望／おむつリサイクル・プール建設／新庁舎要望・売店、食堂設置要望／西大村中学校体育館要望・市内学校体育館要望・第2体育館早期建設要望／他

### ○小林 史政

長崎空港24時間化／市内保育所における使用済み紙おむつの取り扱い／地域おこし協力隊と関係人口を増加するための取り組み／雨水幹線に繁茂する雑草の除去／他

### ○里脇 清隆

坂口鬼橋線の整備計画／小中学校の家庭の日の対応／吹奏楽部の楽器購入予算の確保／吹奏楽部の遠征費助成／定期演奏会開催費用の助成／中学校体育館の複合的計画／消防団員確保／自主防災組織／他

### ○松尾 祥秀

市道平ノ前横山線の整備／市民プールの整備計画／市民会館の建設計画等／他

### ○村上 秀明

専門性のある人材の確保・育成／物価高騰や燃油価格高騰を踏まえた介護保険基金の効果的な活用、令和6年度以降の介護保険料基準額設定／他

### ○晦日 房和

浄水管理センターの高度処理、下水の活用／鳥インフルエンザの感染状況／卵の価格／今後の感染対策／長崎空港の新規路線の開設、空港の24時間化／新型コロナウイルス、ワクチン／他

### ○田中 秀和

移住と二地域居住促進／子育て支援市営住宅整備／新型コロナワクチンとインフルエンザワクチンの同時接種／ゼロカーボンシティへの具体的施策と計画／市道に準じる役割を持つ農道林道の管理／他

### ○高濱 広司

高齢者の税制等／高齢者の福祉対策／相対的貧困等／財産の種類等／アセットマネジメント／不要財産の管理等／本市の第一次産業等／他

### ○竹森 学

新庁舎優先交渉権者決定に至る理由、工期の設定、周辺道路整備、新大村駅前開発における道路整備／熱中症対策の推進／不登校児童生徒の居場所づくりの取り組み／他

### ○村崎 浩史

ガバメントクラウドファンディング(寄附型クラウドファンディングの自治体版)の活用状況、基本方針の策定、多良岳山系周辺自治体の交流・連携、学校給食の今後の方針、大村市創業・交流支援施設(onova)の実績／他

### ○田中 博文

現存する「空き家数」、危険な「空き家」への周知対応／街路樹からの落ち葉は網戸交換用のネットで予防／車いすで安心外出／動物管理センター(仮称)の供用開始時期／他



## 令和5年 12月定例会の予定

12月

1日(金) 10時

- 本会議（議案審議・委員会付託）
- 一般会計予算決算委員会全体会（付託案件分担協議）

5日(火)～8日(金) 10時

- 本会議（市政一般質問）

11日(月) 10時

- 本会議（市政一般質問）

12日(火)・13日(水) 10時

- 委員会（議案審査）
- 一般会計予算決算委員会分科会（分担事項審査）

14日(木) 13時

- 委員会（議案審査）
- 一般会計予算決算委員会分科会（分担事項意見集約）

19日(火) 10時

- 一般会計予算決算委員会全体会（分担事項審査報告・付託案件採決）

21日(木) 10時

- 本会議（議案審議・委員会審査報告・採決）

※定例会の予定(日時等)は変更となる場合があります。  
11月27日(月)の議会運営委員会で決定します。

## 他の議会からの行政視察受け入れ一覧

大村市議会では、本市の特色ある事業や取り組みについて、全国各地の議会からの行政視察の受け入れを行っています。7月から9月までの受け入れ状況は、下記のとおりです。（令和5年9月30日現在）

月日	議会名	委員会・会派名	人数	内容
7月11日	神奈川県大和市議会	会派 公明党	4人	ヤングケアラーの支援と「まつなぎや」の視察について
7月11日	奈良県天理市議会	経済産業委員会	5人	大村市産業支援センターについて
7月12日	栃木県日光市議会	総務常任委員会	8人	住民主導型の地域活性化と自主的な市民活動の取り組みについて ・「大村市地域げんき交付金」について ・「なんでんかんでんチャレンジ40助成金事業」について
7月12日	千葉県袖ヶ浦市議会	会派 啓政会、公明党	4人	ミライon図書館について
7月13日	東京都武蔵村山市議会	会派 市民のチカラ	2人	産業支援センターについて ミライon図書館について
7月14日	東京都武蔵村山市議会	会派 市民のチカラ	2人	こども未来館おむらんどについて
7月19日	大分県大分市議会	会派 自由民主党	1人	グリーンおむら等について
7月20日	北海道北見市議会	会派 市民・連合クラブ	7人	大村市地域再生計画について ・人口増加、移住・定住促進への具体的な取り組みについて ・現状と課題について
8月1日	愛知県東海市議会	会派 市友会	4人	新庁舎建設について
8月3日	静岡県富士市議会	会派 凜の会・公明党	4人	ミライon図書館について
8月7日	青森県弘前市議会	会派 日本共産党	3人	地域猫の取り組みについて





# 大村市議会NEWS

## おおむら夏越まつりに参加しました

8月3日に開催された夏越総踊りに「大村市議会連」として、議員・事務局19名が参加しました。1,000人を超える踊り手の皆さんと一緒に、楽しく元気に踊りました。



### \*本会議の様子を中継しています\*

おおむら  
ケーブルテレビ  
**11ch**  
当日の19時から  
12chで再放送

FMおおむら  
**76.3MHz**  
一般質問のみ

インターネット  
放送  
(大村市議会ホームページ)  
  
URLはこちら↑

YouTube  
公式チャンネル  
  
URLはこちら↑

大村市議会では、本会議の様子をさまざまなコンテンツで中継しています。

## 市議会だより編集後記

皆さん、市議会だよりをご覧いただきありがとうございます。令和4年9月23日に開業した西九州新幹線新大村駅は、在来線も含め1年間で約40万人の利用者があったとのこと。駅前の開発工事も本格的に進んでおり、今後、本市の観光、流通面での飛躍を大いに期待するところです。今年は、コロナ

の影響で開催を控えておりました市民と議会のつどい「語ってみゅーか」を市内8地区において再開し、多くの皆さんから貴重なご意見をいただきました。皆さんからのご意見は議会で十分論議し、市の施策に反映させたいと思います。これからも開かれた議会を目指し、議会の活動状況を分かりやすくお伝えできるよう広報活動に取り組んでまいります。

(久保 和幸)

### 広報委員会

- 委員長 水上 享 ● 副委員長 古閑森 秀幸
- 委員 久保 和幸 光山 千絵 高濱 広司 田中 秀和 田中 博文 村上 秀明

この広報紙は



環境に配慮した植物油  
インキを使用しています。



可読性の良い書体  
を使用しています。

市政一般質問や定例会の内容など、もっと詳しく知りたい方は大村市議会のホームページをご覧ください。

大村市議会

検索



編集・発行 **大村市議会**

大村市玖島1丁目25番地 ☎52-3828